

大隅の魅力ある観光と食情報発信 （「おおすみ漁師飯グランプリ」の開催）

大隅地域振興局 林務水産課

【背景・目的】

大隅地区は、農林水産物の一大産地として県内有数の出荷量を誇っており、水産では錦江湾側では養殖ブリ・カンパチの主産地であり、佐多岬～志布志湾側ではイセエビや定置網で漁獲されるアジ・サバ等、また底曳網で漁獲されるハモやバッチ網で漁獲されるチリメンなど、多種多様の魚種が生産・漁獲されている。

大隅半島の市町・漁協からなる「おおすみ水産振興協議会」が主体となり、豊かな水産物を「大隅のさかな」としてPRし、長期的な魚食普及を図るため、大隅管内での情報発信として、「漁師の逸品！おおすみ漁師飯グランプリ」を開催した。

【普及の内容・特徴】

1 イベント（漁師飯グランプリ）の開催

①方法

「おおすみ漁師飯グランプリ」は、地域の地魚（地元で漁獲・養殖されている魚）を使った地域の地魚料理を「漁師飯」とし、それぞれの漁協と地域の料理店より共同で提案された「漁師飯」をチケット購入者の投票によりグランプリを決めるものとした。

日時：平成29年11月23日（祝日）

場所：鹿屋市霧島ヶ丘公園（鹿屋市農業まつりとの共催）

②結果

管内9漁協+店舗と、鹿屋中央高校の10店舗により「漁師飯」の提供を行い、3,000食の漁師飯を完売し、表彰式・抽選会を行った。なお、鹿屋市農業まつりの来場者は主催者発表32,000人であった。

2 イベントに伴う情報発信

イベントの事前告知としてポスター・チラシの配布、管内市町広報への掲載、町内会回覧、新聞折込チラシ、生活情報誌への広告、新聞への記事掲載、TV放映を行い、事後報道はニュースでラジオ・テレビで1社ずつ放送された。

【成果・活用】

イベントの来場者アンケートでは、鹿屋市を中心に大隅管内全体、また鹿児島市内・宮崎県、他県からの来場者もあり、広範囲からの誘客が図られていた。さらに、イベントPRのための広報・報道により、来場者以外に対しても「大隅のさかな」のPRがなされたと考えられる。

また、イベント終了後は、漁師飯グランプリで提供した料理を目当てにした来客があったために「漁師飯」を新たにメニューに加える店舗も見られており、イベント開催が地元水産物のPRや地元での消費拡大への端緒となることが期待される。



漁師飯グランプリの開催 (H29. 11. 23鹿屋市霧島ヶ丘公園)



事前周知用チラシ



当日用チラシ



情報誌広告



各種マスコミでの広報・報道